

「望ましい教育環境はどうあったら良いのか」

2023.07.21 中公3F大

参加者 美濃市内小中学校教員（次世代リーダー&ミドルリーダー研修会参加者）

（参加者19名 年代内訳 40代7人、30代8人、20代4人参加 市内教諭79名の24%）

1. 小学校や中学校の教室や機能は？

- ア、広い空間が欲しい。心理的にも広い方が良い。
- イ、大きく広い教室。活動の多様性が認められる教室環境
- ウ、小学校にも、相談室の他にスタディールームのような部屋があった方が良い。
- エ、個別学習のできる教室、パーテーション、塾のような…
- オ、各階に、授業中でも個別対応できる部屋が欲しい（空き教室、相談室）

2. その他の教育環境について

- ア、早い段階で専門機関につないでいけると良い。情報（発達障害、家庭環境）も提供する。
- イ、小・中で交流すると、中に向けて小で大切にすると良いことが見えてくる。
- ウ、勉強や行事以外で、努力して成果を得られるもの（例：昭中アスリート）があるとよい。
- エ、少人数学級具現のための人材確保（非常勤講師でなく教諭が欲しい）
- オ、人間関係に変化がないのは、子供も教師も苦しい
- カ、学級担任ではなく、複数担任・学年担任制、チーム担任でやりたい。
- キ、各教室に1台、配信用のiPadが欲しい。 ク、個人ロッカー、収納場所、更衣室が欲しい
- ケ、少人数の学校もあってよい。子どもが選べる。
- コ、Webラーニングのような全教科学習デジタルコンテンツがほしい
- サ、印刷機にオルフィスがあるとよい シ、市内サーバーの充実
- ス、体育館や学習室にエアコンが欲しい セ、デジタル教科書等、ICT機器等を完備

3. 小学校と中学校の関係性、連続性は？（分離型 or 併設型小中一貫校、義務教育学校）

- ア、小中一貫校だと、中が小の面倒をみる、異学年での授業もおもしろい。
- イ、規模が小さい学校、あるいは近い場所にある学校だからできる連携を大切にしたい。
- ウ、小学校時代のことを知っている先生が中学校にすることが大切。小中一貫のメリットあり
- エ、中学校区で義務教育学校にしてもよい。
- オ、将来入学してくる生徒（児童）と早めの交流をしたい。
- カ、小6から中1へ、知っている先生がいると安心できる。
- キ、入学前の事前交流、お試し期間、下見等の機会が欲しい。
- ク、義務教育学校は教員の連携ができる。環境が変わらない点は残念。
- ケ、義務教育学校は指導の連続性があるけれど、中学入学の「心機一転」が難しい。
- コ、小中の連携がしっかりできることと、中1の新人扱いがなくせることが良い。

4. 一学級の人数は？（小学校、中学校）

- ア、20～27, 28 人程度がベスト。それより少ないと人間関係が狭まる。 イ、24～30 人がよい。
- ウ、1 学級 25 人以下がよい。30 人を超えるクラスは見届けが難しい。
- エ、20 人程度がよい。見届けやすくいろんな意見も出る。
- オ、20 人（3 人×6 班）程度、特別支援学級は多くても 5 人程度がよい。
- カ、4 人グループの中で「20 人が良い」2 名、「24 人（4 人×6 班）」が 1 名、「20～25 人」が 1 名。

5. 一学年の学級数は？

- ア、単学級は厳しい。人間関係が固まる。最低 2 学級はほしい。
- イ、2 学級以上がよい。短学級は関係性が固定されて息苦しい。比べるところがない。
- ウ、少ないより多い方がよい。
- エ、短学級でない方がよい。2 or 3 学級欲しい。

【「教師の意見」まとめ】

1. 小学校や中学校の教室や機能は？

個別学習や個別相談が可能となる余裕スペース（多目的スペース）が欲しいという意見が複数見られた。広い教室や広い空間については、十分検討する必要がある。

2. その他の教育環境について

小中学校と専門機関との連携、小中学校間での交流、学校の特色ある活動や教育課程の工夫、教師の人材確保と指導体制の充実、デジタル環境の整備、冷房環境やロッカー・更衣室などの整備等に重点を置きたい。

3. 小学校と中学校の関係性、連続性は

小中一貫校や義務教育学校の特徴（メリットやデメリット）を把握した教師が複数いて、その理解がこの研修会で広がった。この理解を避けて将来の学校のあり方を検討することは難しい。

4. 一学級の人数は？（小学校、中学校）

参加教員の多くが、一学級の人数は 20～30 名が良いと捉えている。本年度（R5）、すでに 1 学年平均 20 名を下回っている学校がある。本年度の市内乳幼児数や出生児数を見る限り、今後もこの状況は続くと思われる。

5. 一学年の学級数は？

「単学級は厳しい。人間関係が固まる。最低 2 学級はほしい。」という教師の条件を満たした学年は、現在の市内 5 小学校の 30 学年中 9 学年（30% 美濃小 6 学年、中有知小 3 学年）。6 年後は 30 学年中 5 学年（17% 美濃小 3 学年、中有知小 2 学年）となる。